

MARUYOSHI SUPER REPORT

第63期 中間報告書

2022年3月1日 ▶ 2022年8月31日

MARUYOSHI CENTER

株主の皆さまへ

地域の皆さまの食生活をより豊かに、楽しく、便利にする ライフスタイル提案型スーパーマーケットを目指します。

Top Message



代表取締役社長

佐竹 克彦

株主の皆さまには、日頃より
格別のご支援をたまわり、誠に
有難く厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第63期
第2四半期連結累計期間(2022
年3月1日から2022年8月31日ま
で)の事業の概要と決算につき
ましてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間(2022年3月1日~2022年8月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響のあるなか、ワクチン接種の促進により新規感染者数が減少し明るい兆しが見られるものの、一方では、変異株の拡大により一進一退の状況が続いております。加えて、ロシア・ウクライナ情勢の長期化が懸念され、それに起因する資源価格の上昇等、景気の先行きは不透明な状況が継続しております。

個人消費につきましては、行動自粛の緩和などで幾分明るさを取り戻しつつありますが、雇用・所得環境の悪化は改善されず、厳しい状況で推移いたしました。

小売業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大抑止のための外出自粛要請やテレワークの推進等によるお客様の内食需要の高まりへの対応、また、店舗における感染拡大防止策の実施等が引き続き求められており、労働需要の逼迫に伴う人件費関連コストの増加、さらに、企業の統合・業界再編への動きがより一層強まるなど業界を取り巻く環境は引き続き厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社は新型コロナウイルス感染症の影響により、食料品および日用品の需要は引き続き好調に推移したものの、前年同期の買い溜め需要の反動減の影響がありました。そのような状況のなか、当社は基本方針を「マルヨシセンターらしさの実現」とし、経営理念である「健康とおいしさ」をキーワードに、高まる簡便需要への対応と外食需要の取り込みを図るため、味、品質にこだわった味付き肉やデリカ(惣菜)の商品開発を強化しております。また、基本の徹底「挨拶」「接客・サービス」「鮮度管理・クリンリネス」「品切れさせない」を行動の基本とし、地域のお客様に喜んでいただけるように取り組んでおります。当第2四半期連結累計期間は、シェア拡大のために徹底して商品量を増加させたことで、売上高・客数は前期を上回り順調に推移したものの、3月に導入した新基幹システムの不具合も重なり、数値管理が不十分な状態となり、値下げ・廃棄が増加、荒利益高の十分な確保が出来ませんでした。現在は、新基幹システムの不具合は概ね解消され、シェアを確保しつつ、荒利益高の最大化に向けて無駄な値下げ・廃棄が発生しない適切な商品量を目指して改善を進めております。また、原油価格の高騰、円安の影響等による商品原価や光熱費等の増加についても、より強固な経営基盤の構築を目的とした生産性の改善をさらに進めることで、経費の圧縮を図り、1人当たりの利益高の向上に取り組んでおります。

このような取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は187億38百万円(「収益認識会計基準」適用前売上高193億97百万円、前年同期は190億51百万円)、営業利益は12百万円(前年同期は3億19百万円)、経常損失は0百万円(前年同期は3億1百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は17百万円(前年同期は1億96百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

2022年11月

特集

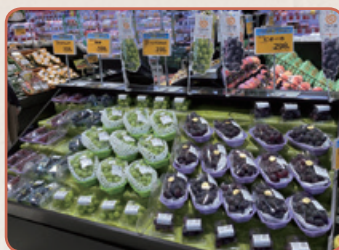
1

内海店リニューアルOPEN！ 品揃えを拡充、より便利で楽しく

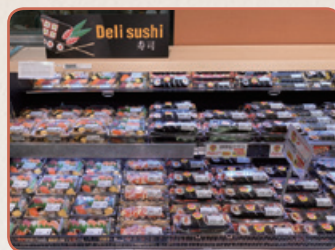
内海店 改装 OPEN!



青果や精肉コーナーも充実のラインナップ



寿司や惣菜も豊富に取り揃えました



特集

2

「レストラン ミケイラ」 シェフ監修の pasta 発売

当社が経営する「レストラン ミケイラ」のシェフが監修した pasta を作りました。シェフが腕によりをかけて仕上げた本格 pasta です。



ロメインレタスの
レモンペペロンチーノ



さばとオリーブの
ブッタネスカ風



特集

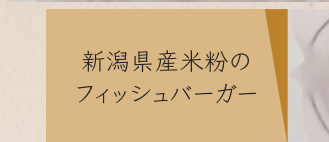
3

話題の米粉パン、販売スタート

新潟県産の米粉を80%使ってバンズを作りました。もちり甘いパン生地に人気の具材を挟んだバーガーです。



新潟県産米粉の
タルチキバーガー

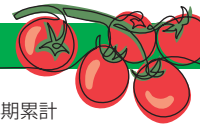


新潟県産米粉の
フィッシュバーガー



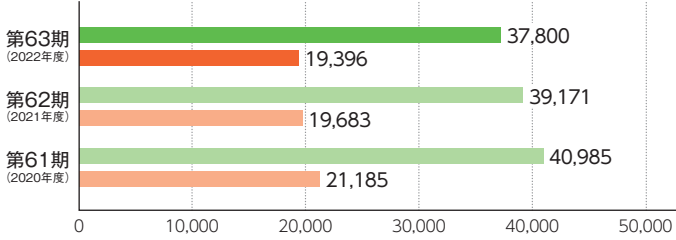
新潟県産米粉の
照焼きバーガー





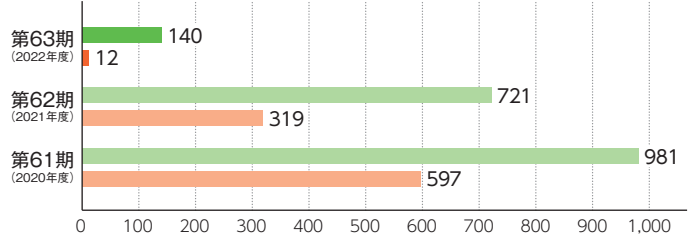
営業収益

(単位: 百万円)



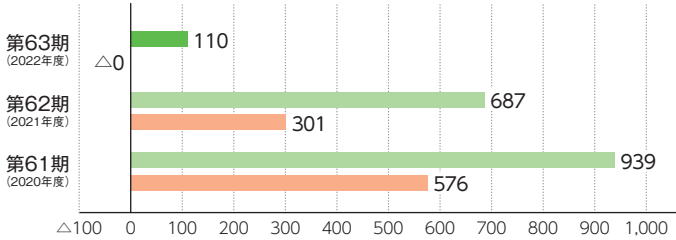
営業利益

(単位: 百万円)



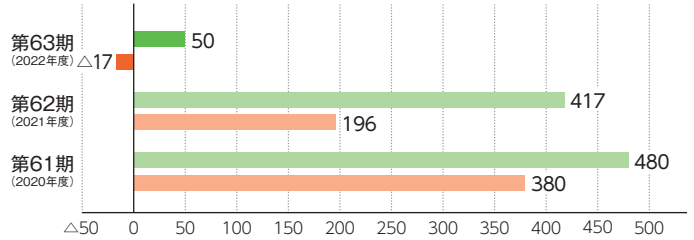
経常利益(△経常損失)

(単位: 百万円)



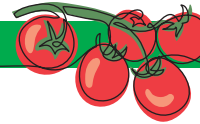
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(△純損失)

(単位: 百万円)



(注)第63期通期については、予想数値であります。

連結財務諸表(要約)



● 第2四半期連結貸借対照表

(単位: 千円)

科目	当第2四半期連結会計期間末 (2022年8月31日現在)	前期末 (2022年2月28日現在)
資産の部		
流動資産	3,449,937	2,986,454
固定資産	13,402,456	13,485,029
有形固定資産	11,063,026	11,127,181
無形固定資産	655,536	671,579
投資その他の資産	1,683,893	1,686,268
繰延資産	5,957	6,165
資産合計	16,858,351	16,477,649
負債の部		
流動負債	6,656,164	6,025,333
固定負債	7,301,462	7,493,466
負債合計	13,957,626	13,518,800
純資産の部		
株主資本	2,729,247	2,776,586
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	514,827	514,827
利益剰余金	1,161,165	1,208,504
自己株式	△ 24,743	△ 24,743
その他の包括利益累計額	△ 11,660	11,136
その他有価証券評価差額金	△ 32,544	△ 11,301
退職給付に係る調整累計額	20,884	22,438
非支配株主持分	183,138	171,125
純資産合計	2,900,725	2,958,849
負債及び純資産合計	16,858,351	16,477,649

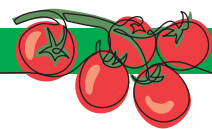
(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

● 第2四半期連結損益計算書

(単位: 千円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (2022年3月1日から 2022年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (2021年3月1日から 2021年8月31日まで)
売上高	18,738,630	19,051,420
売上原価	14,482,760	14,337,848
売上総利益	4,255,870	4,713,572
その他営業収入	657,798	631,842
営業総利益	4,913,668	5,345,415
販売費及び一般管理費	4,901,376	5,025,846
営業利益	12,292	319,568
営業外収益	19,272	17,981
営業外費用	31,859	36,220
経常利益又は経常損失(△)	△ 294	301,329
特別利益	798	—
特別損失	5,245	34
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△ 4,740	301,295
法人税、住民税及び事業税	23,614	70,460
法人税等調整額	△ 22,648	25,912
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	△ 5,707	204,921
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,100	8,667
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 17,808	196,253

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。



● 株式の状況

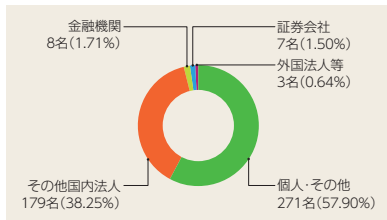
1) 発行可能株式総数	2,175,000株
2) 発行済株式の総数	934,999株
3) 株 主 数	468名

■ 大株主 (上位10名)

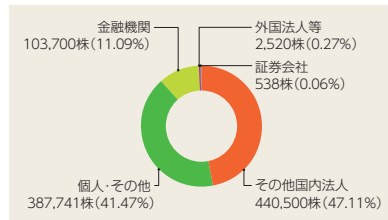
株主名	株式数(株)	持株比率(%)
株式会社 イズミ	185,200	19.81
佐 竹 睦 子	92,500	9.89
マルヨシセンター取引先持株会	85,700	9.17
有限会社 佐竹興産	49,900	5.34
株式会社 百十四銀行	37,900	4.05
株式会社 阿波銀行	37,900	4.05
マルヨシセンター従業員持株会	26,539	2.84
佐 竹 克 彦	26,200	2.80
ロージー 美 佳	17,000	1.82
黒 田 真由美	11,400	1.22

(注) 持株比率は自己株式(63株)を控除して計算しております。

■ 所有者別株主分布状況



■ 所有者別株式分布状況



● 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
基準日	定時株主総会 毎年2月末日
	期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日 (中間配当を行う場合) (その他必要がある場合はあらかじめ公告して定めた日)
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
公 告 方 法	電子公告 (当社ホームページに掲載) http://ww2.maruyoshi-center.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上 場 取 引 所 市 場	東京証券取引所 スタンダード市場

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

環境方針

- ① 企業活動のなかで、資源の有効利用、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、環境に配慮した商品の提供に取り組んでいきます。
- ② 環境に関する法規制および当社が受け入れを決めた要求事項を遵守します。
- ③ 環境保全のために必要な改善の継続と汚染の予防に努めます。
- ④ この方針は、文書化して全従業員に周知徹底し、実施・維持します。
- ⑤ この方針は、社内外全般に公表します。

● 会社概要

社 名	株式会社マルヨシセンター
設 立	1961年3月
本店の所在地	香川県高松市国分寺町国分367番地1
資 本 金	1,077,998千円
事 業 内 容	スーパーマーケットおよびレストラン
店 舗 数	スーパーマーケット35店舗 レストラン1店舗
従 業 員 数	430名 (ほか、パートタイマー1,170名 [8時間換算])

● 取締役・監査役

代表取締役社長 CEO	佐 竹 克 彦
取締役副社長 COO	加 藤 ひろみ
常務取締役 CFO	小 笠 原 まさ将
常務取締役 CMO	伊 藤 まさ雅
取 締 役	寺 本 とも智
取 締 役	大 下 ひで秀
常 任 監 査 役	大 西 しんじ
監 査 役	川 西 敏 祥
監 査 役	三 東 やす康
監 査 役	三 宅 しんじ

(注) 大下秀樹は社外取締役、川東祥次および三宅康夫は社外監査役であります。

● 会計監査人

太陽有限責任監査法人

マルヨシセンターホームページ

マルヨシセンターに関する情報は、ホームページでご覧いただけます。
<http://ww2.maruyoshi-center.co.jp/>